旭実だより

北海道立正学園
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校ＨＰ

商業科

㈱壺屋総本店　村本暁宣社長の講演
スイーツ開発特別講座

商業科では3年次にスイーツ開発を行い、毎年「旭実フェスティバル」や「食べマルシェ」等で販売しています。その事前学習として、2年生を対象に12月7日（火）3・4時間目に、**㈱壺屋総本店取締役社長の村本暁宣 様（本校ＯＢ）を講師にお招きして、スイーツづくりにおいて大切なことをお話しいただきました。**

その後、どら焼き生地、ブッセ（壺屋総本店の商品「雑木林」の生地）、バームクーヘンのいずれかと粒あん、バタークリーム、生クリーム、いちごジャムなどの素材を組み合わせて自分たちの考えたスイーツをつくりあげました。

今後、生徒たちは7月に行われる「旭実フェスティバル」に向けて、各班ごとに独自の旭実スウィーツを開発していきます。

租税教室　模擬選挙体験

12月9日（木）、**商業科3年生を対象とした「租税教室・選挙講座」が開かれました。**北海道税理士会旭川支部や旭川市選挙管理委員会の方々がわかりやすく税の仕組みや選挙制度について教えてくださいました。模擬選挙体験では実際に選挙で使われているものが用意され、生徒たちは初めての経験に真剣に取り組んでいました。

自動車科

50年以上前の大型バス　レストア見学
旭川電気軌道㈱

12月21日（火）、**自動車科のエンジニアサークル11名が旭川電気軌道㈱様の工場見学に伺いました。旭川電気軌道㈱様では50年以上前に運行していた三菱ふそうＭＲ430型のバスをレストアしています。**このバスは全長12ｍもある大型で、フロントに4つのタイヤ（フロント2軸、リヤ1軸）がありとても珍しく、日本に唯一現存する車両ということです。

合田 朋弥 さん（自2・東明中）「普段入ることのない大型バスの整備工場を直に見させていただき、とても嬉しかったです。錆びた外装を一から板金で制作してあるのを見て、**プロのレストア技術の高さに感動しました。**自分たちも今トヨペット・コロナをレストアしているので、根気よく頑張りたいです。」

昨年11月より始まったトヨペット・コロナのレストアは現在、エンジンルームの錆び取りを行っています。これから塗装に入り、オーバーホールしたエンジンを乗せる予定です。（詳しくは本校公式YouTubeチャンネルにて）

機械システム科

本館校舎にイルミネーション
幼稚園のジャングルジム補修

今年も**機械システム科3年生の課題研究の授業でイルミネーションを設置しました。**「大きくかわいい」をコンセプトに本館校舎の屋上からＬＥＤコードを垂らして装飾しました。遠くからでもよく見え、夜間の癒しとなっています。

課題研究の授業では5つの班に分かれてロボット相撲のプログラミングや制作、足踏み式消毒スタンドの制作、ジオラマ制作などを行っています。

イルミネーションを設置した班は「人のためのものづくり」をテーマにしており、他にも**本館校舎生徒玄関の手すりや、旭川みその幼稚園にあるジャングルジムの錆び取り、塗装等の修繕を施しました。**

サッカー部

プレミアリーグ参入ならず
選手権北海道予選は準優勝

12月10日（金）、広島県内で高円宮杯ＪＦＡＵ-18サッカープレミアリーグ2021プレーオフが開幕し、本校はバルコムＢＭＷ広島総合グランドにて愛媛ＦＣＵ-18と対戦しました。前半に1点を許し、後半で相手を押し込み始めるも追加点を取られ、**0対2で敗退となり、プレミアリーグ参入とはなりませんでした。**

また、10月24日（日）、札幌厚別公園競技場に行われた全国高校サッカー選手権北海道予選決勝では北海高校と対戦し、ＰＫ戦で4対5と惜しくも敗れ**準優勝**という結果に終わりました。

３年生　卒業献血

12月6日（月）・9日（木）の2日間、**毎年恒例となった3年生の「卒業献血」が行われました。**

「卒業献血」は3年生を対象に医療へのボランティアとして、血液が不足するこの年末の時期に実施されています。**2日間で146名の生徒や教員が献血に協力しました。**

来年1月26日（水）には、課題研究での活動内容を2年生に向けて発表します。